

=市史編さん便り= 【13号】 令和4年6月16日(木)発行.

*****土佐清水市教育委員会生涯学習課・市史編さん室

歴史資料等を土佐清水市へ寄贈いただく！

土佐清水市三崎出身で現在和歌山県に在住されている原一水さんから、生涯学習課市史編さん室を通し、土佐清水市へ歴史資料等を寄贈したいとの申し出があり、下記の歴史資料をご寄贈いただきました。原さんありがとうございました。これらの寄贈物の一部を近々市民図書館で展示する計画を立てています。日程が決まり次第本便りでご案内させていただきます。

No	資料名	点数	備考
1	貨幣	1式	古銭、記念コイン、紙幣
2	記念切手	1式	
3	書籍	3冊	『貨幣手帳』ほか2冊
4	古新聞	1枚	大正11年1月1日付 付録
5	古文書	4冊	『系図記』『年譜書』ほか
6	四国八十八ヶ所里程地図	1枚	
7	卒業証書(写し)	1枚	
8	商用道具	1式	ソロバン×2、天秤はかり
9	カツオ節加工用刃物	1式	10丁



「令和4年度東温市民大学」7月3日(日)13:00～ で中浜万次郎を語ってきます！

本年度の愛媛県東温市民大学(東温市文化協会主催・東温市教育委員会共催)が7月3日(日)13時から坊ちゃん劇場(愛媛県東温市奈良1125)で開催されます。「ジョン万次郎の生涯に思いを馳せ、ミュージカルで泣き笑いの感動を味わいましょう！」とのことで、メインは「ジョンマイラブージョン万次郎と鉄との7年―」と題してミュージカルが上演されます。振付をラッキィ池田さんが担当されているの

令和4年度
東温市民大学
日本開国英雄 ジョン万次郎の生涯に思いを馳せ、ミュージカルで泣き笑いの感動を味わいましょう！



激動の時代を生きた
ジョン万次郎
提供：ジョン万次郎直系五代目中原京

愛媛県
出身

高岡 薫 (AKB48 Team8)
主役(鉄)として出演予定

坊っちゃん劇場
東温市見奈良 1125

7月3日(日) 13:00 開演 (12:30 開場)

13:00	開演
13:10	【演劇】 『万次郎の生涯から見たジョン万次郎スピリット』 【演劇】土佐清水市市史館編纂室 田村 公利氏
13:50	休憩
14:00	【原典】ミュージカル 『ジョン万次郎』
16:00	終了

料金・チケット
1,800円 (全席指定)
販売期間 6月6日@ 10:00~
中央公民館・川内公民館で販売
引換期間 7月3日@ 11:00~
坊っちゃん劇場で指定席引換

主催 東温市文化協会 共催 東温市・東温市教育委員会 協賛 東温市生涯学習課 089-964-1500

でかなりアクティブな舞台になるのではないかと思います。

この前座の講話を市史編さん室・田村公利が東温市文化協会長からご依頼を受けました。万次郎とふるさと土佐清水市を代表して東温市の皆様に万次郎を熱く語っていきたくと考えております。演題を「万次郎の生死から見たジョン万次郎スピリット」と題し、万次郎の生死観、生き方を探っていきたくと思います。

ここでミュージカルに登場する万次郎と妻・鉄について少しお話をさせていただきます。

万次郎と鉄は、嘉永7年(1854)2月12日、仕えていた伊豆葎山(にらやま)代官江川太郎左衛門の世話で剣術道場主・団野源之進の次女であり、すこぶる活発な鉄(当時17歳)と見合い結婚を行った。万次郎27歳のときのことです。

万次郎と鉄の結婚生活は、わずか8年足らずの短い期間でした。文久2年(1862)7月21日、当時関東地方で大流行していた麻疹に罹患し、あっけなく亡くなったのです。結婚後、寿々(長女)・東一郎(長男)・鏡(二女)と三人の子どもを儲け、公的にもこの期間『ボーディッチの航海書』の翻訳や『英米対話捷徑』の執筆、咸臨丸による米国への渡航、捕鯨指導のために箱館に赴任、小笠原諸島の調査等々多忙を極めていました。この激務の万次郎を支えたのは愛妻・鉄だったのです。

万次郎と鉄の間に生まれた長男・東一郎が、医師になったことは、母・鉄を麻疹で亡くしたことが影響していると思われる。東一郎は、東大医学部を卒業し、かの森鷗外と同期であることは意外と知られていません。交友もあったようです。

卒業後、福島県医学校長、岡山県医学校校長、金沢病院院長、東京衛生試験所長と要職を勤め、常に防疫対策の第一線で活躍しました。その後、初代東京市医師会長、初代日本保険医協会会長等も歴任しています。東一郎の防疫医学に生涯をかけた心の中には、母・鉄への思いがあったことでしょう。

【編集後記】

先日、「第15章・動物」の箇所海洋生物を担当していただいた高知県立足摺海洋館・新野館長の執筆が完了し、まもなくゲラ作成のため委託業者に提出できる見込みとなりました。専門家でなくても原稿も分かりやすく、新野館長の魚のペン画や写真も豊富に添付されます。今から発刊が楽しみです。他の編集委員・執筆協力員の皆様も原稿提出よろしくお祈いします。